

はみださな
いように神
経を使う細
かい作業



Check

家紋は2万種類以上あるという。そのなかでもよく使われている約300種の型を用意



細かい文様が描かれていてので目詰まりに注意

体験 家紋入れ体験

職人たちが働く空間で本格的な指導を受ける

紋洗いと上絵の作業に挑戦。伝統工芸士でもある職人が、ていねいに教えてくれる。自家の家紋を入れる人がほとんどだが、歴史上の人物の家紋を入れる人も。



力を入れてゆっくりに染料をのぼす



③ 紋糊落とし

紋を入れる部分が染まらないようにカバーするのに貼ってある紋糊を洗い落とす作業。一見簡単そうに見えるが、熟練の技が必要となる。

④ 上絵

家紋よりも一回り大きく染め残してあるところに、シルクスクリーンを使って家紋を入れる。ふちに残った白い部分は、筆で黒く塗っていく。



① 白地検品・墨うち

染める前の白い反物を検品、紋を入れる位置を指定していく。単純だが出来上がりを左右する重要な工程。

② 染色

染料が満ちた湯気の上がる槽の中へ反物を浸して染める。重ね染めを何度も繰り返して、濃く深い黒を出す。



染めの黒さを競い世界最高レベルに
黒という色は、並べてみると一目瞭然、濃いほうはより黒く、淡いほうは灰色に近く見えてしまう。紋付は黒ければ黒いほど上質とされるのは、そんな理由から。その結果、染めの黒さを競い合い、技術を磨いていった日本の黒染め技術は世界でもトップレベル。京都紋付の染工場では、温故知新をテーマに伝統の技を受け継ぎながらも、より深く濃い「黒」を追求してきた。その技術力を紋付以外に活用した「黒の世界」が広がっている。

見学の流れ

所要時間 60分

- ① 白地検品・墨うち
織難がないかを検品。袖紋・胸紋・背紋が入る位置にしるをつけていく
- ② 染色
より黒く染めることを追求しながらも、環境を考えてエコロジー染料を使用
- ③ 紋糊落とし
水に通しながら、メンコをはがす。1度染める20反分の作業が延々と続く
- 中間検品
反物をすべて広げて検品を行なう。何度も検品を重ねることで品質の向上を図る
- 濃色加工
光の反射を減少させるため、濃色・深色加工を施すと、より黒さに深みが増す
- 紋洗い
染め残した部分を、より白く美しくするために漂白。家紋を浮かしたせる
- ④ 上絵
量産製品は型を使うが、特注品や珍しい家紋などは手描きで。職人技が冴える

体験 家紋入れ体験

紙で練習したら、いざ本番。正絹の襦袢に家紋を刷り込み、ふち消して完成

伝統品の魅力

黒染めの技術を生かしてオリジナルデニムを染める

深みのある黒に染めたデニムに、家紋を大胆にデザイン。国内外に向け、染めの新たな形を発信中。

購入することもできる

創業以来、「黒」という色にこだわりの続けています

代表取締役社長 荒川徹さん

京都紋付

技術革新を重ねながら黒の世界を追求し続ける

京都府 京都市中京区壬生松原町51-1

予約 ¥FREE 体験

Data

MAP P.92 H-1

☎ 075-315-2961

🌐 <http://www.kmontsuki.co.jp/>

📍 京都府京都市中京区壬生松原町51-1

🚶 JR丹波口駅から徒歩7分

🚗 1~2台 (事前に要確認)

🕒 問い合わせ 9:30~17:00 (土・日曜を除く)

📞 予約方法 電話

📅 受付 2週間前まで

📅 見学実施日 平日

🕒 見学開始時間 9:30~17:00の間で応相談

📌 見学料金 家紋入れ体験1600円 (袴襦紗に仕立てる場合は別途1000円)

